



東京都
(医)明翔会
いしかわ歯科医院

芳賀 浩昭
先生

今回のアイテム

デプラーカー／カーボンファイバースケーラー

補綴物や歯肉を傷つけずに優れた清掃性を発揮

Kerr社のカーボンファイバースケーラーであるデプラーカーは、インプラントのチタン製アバットメント表面に傷をつけず、プラークを除去する事ができる。当院では、インプラントのメインテナンスは勿論の事、セラミックスによる補綴物（陶材焼付け冠、オール

セラミックススクラウンなどを合着後の余剰セメントの除去にも本製品を用いている。

セラミックスは表面が緻密で硬度が高いために汚れが付着しにくい、不用意に金属製のインスツルメントを用いると表面に傷がつき、プラークの付着を助長する事になる。デプ

ラーカーを用いるとセラミックス表面や歯肉に傷をつけず、速やかに余剰セメントを除去する事ができる。

写真①②は上顎第二小臼歯にオールセラミックススクラウンを装着したケースである。

クラウン周囲の余剰レジンセメントをデプラーカーにて

敏速かつ歯肉を傷つけずに除去する事ができた。

写真③④⑤は上顎中切歯と犬歯を支台とした陶材焼付け冠によるブリッジのケースである。

ポンティック下の狭い部分の余剰セメントもデプラーカーによってスムーズに除去が

可能であった。

補綴物の審美性の維持と周囲組織の安定には、補綴物表面や歯肉に傷をつけない様、余剰セメントやプラークを除去する事が必要不可欠である。デプラーカーはそれを容易に行える優れた器具であるといえる。

